

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年12月12日（月）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアF1

3 確認項目

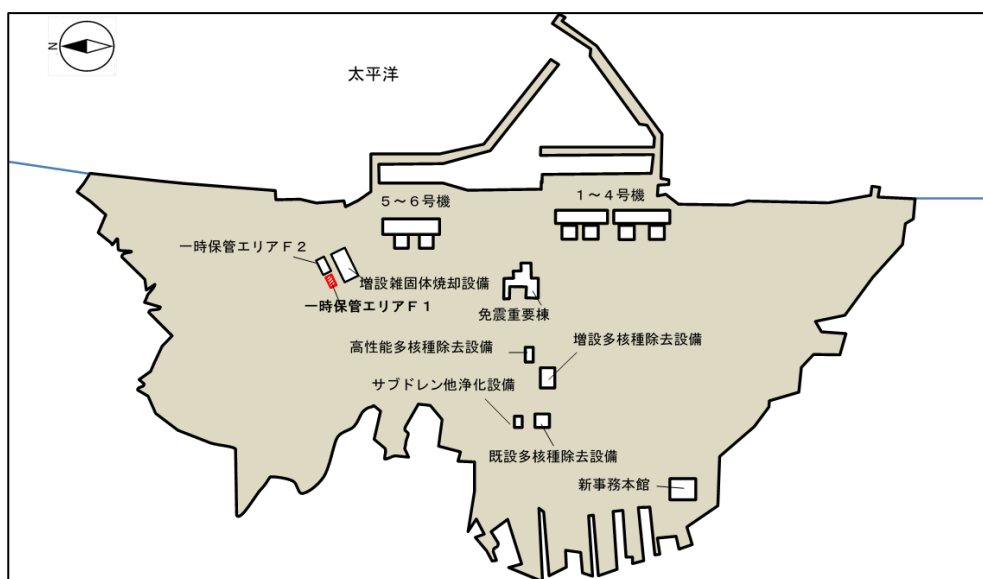
瓦礫類一時保管エリアF1の状況

4 確認結果の概要

前回（11月18日）に引き続き、これまで高線量の瓦礫類（受入目安表面線量率：10mSv/h）を保管していた瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）F1及び周囲の状況を確認した。

（図1）（写真1）

- ・現地確認時、一時保管エリアF1では、コンテナの移動作業が行われていた。（写真2）
- ・地表面で高い線量率が確認された一時保管エリアF1内の西側の一部は、前回確認時と同様に、単管バリケードで区画され、「高線量注意」、「関係者以外立入禁止」の表示が掲示されていた。また、区画の中央部付近はシート養生されていた。（写真3）
- ・一時保管エリアF1周辺の地表面の線量率を測定したところ、高い線量率が確認された箇所はなく、放射性物質による汚染の拡大は認められなかった。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
一時保管エリアF1の概観
(東側から撮影)



(写真2)
一時保管エリアF1でのコンテナ移動作業の状況 (北東側から撮影)



(写真3-1)
高い線量率が確認されたエリアの区画状況① (北東側から撮影)



(写真3-2)
高い線量率が確認されたエリアの区画状況② (北東側から撮影)



(写真4)
一時保管エリアF1周辺の地表面の線量率測定状況の例 (高い線量率が確認されたエリアの北西側の地表面の測定状況) (北西側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。